

# 安平町鉄道資料館

## ～紹介～

安平町鉄道資料館は昭和51年に開館した。「D51 320」の鉄道などを保管している鉄道資料館です。人々達が「SLを残してこよう」という思いからこの資料館ができました。ほかにも火災時のときの写真などたくさんの展示物もあります

記者

工藤 和奏

佐藤 一加 ラルス

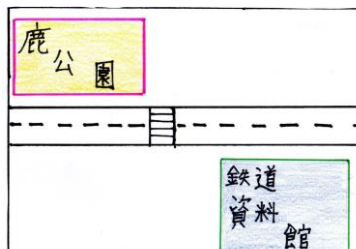
清水 結 ぴーすけ



SL「D51 320」

の秘密?!

「D51 320」は夕張から石炭を運んでいたSLです。毎日毎日、石炭を運び、走った距離は、「2,752,188 Km」地球約69週分です。この距離を約50年で走りました。



住所

北海道勇払郡安平町追分  
白樺2丁目14番地

## ～SLの造り～

SLは、連絡器・防煙板・前照灯・シリンダ室・煙突・蒸気室・主連棒・主動輪・安全弁・発電機・給水ポンプ・運転室・炭水車の全部で、約13の造りでSLが動いています。



## ☆SLの豆知識☆

- |                           |                          |                    |
|---------------------------|--------------------------|--------------------|
| ・車輪の大きさ<br>1メートル40センチメートル | ・SLが造られた日<br>昭和14年11月11日 | ・1日で使う石炭の量<br>約4トン |
| ・全体の長さ<br>19.5メートル        | ・SLが造られたところ<br>日立製鉄所     | ・1日で使う水の量<br>約20トン |
| ・全体の重さ<br>123トン           | ・SLの製造期間<br>約1年          |                    |

## ！感想！

鉄道の造りや、SLの秘密を知ることができました。普段は、なかなか見られない場所が見れて良かったです。

